

【夜長】

20句は

暑くもなく寒くもなく夜の長き 長き夜のレンズを研く機械かな

眠るもよし眠らぬもよし夜は長し 胡麻締めて胡麻の滴る夜長かな

長き夜は虫に任せて早寝せむ 夕ポンサー途中で替る夜長かな

灯を消して瞼を閉ぢて夜の長き 吊されて布巾の白き夜長かな

菊の香に神や仏の夜長かな 長き夜の薄茶格子にものを書く

長き夜の卓の小菊の蕾かな 黒で書き赤で書き込む夜長かな

長き夜を線香の火の沈みゆく 書に遊ぶ人に夜長のミルクティー

長き夜の中に昨日も今日もある 読み終へて余韻に浸る夜長かな

水圧の水道管の夜長かな 長き夜をお化けと遊ぶ物語

齒車の遅速の刻む夜長かな 寝落ちたる人と夜長を同じうす

充満の夜の長き 余韻に浸る夜長かな

暑くもなく寒くもなく夜長なり 長き夜の胡麻を圧して胡麻油  
眠るもよし眠らぬもよし夜は長し スポンサー途中で替る夜長かな  
長き夜は虫に任せて早寝せむ 長き夜にしばし赤子の良き眠り  
灯を消して瞼を閉ぢて長き夜を 吊されて布巾の白き夜長かな  
長き長き夏を忘るる夜長なり 黒で書き赤でなほ書く夜長かな  
菊の香に神や仏や夜の夜は長し 長き夜をお化けと遊ぶ物語  
長き夜を線香の火の沈みゆく 書に遊ぶ人へ夜長のミルクティー  
長き夜の中に昨日も今日もある 深々と余韻に浸る夜長かな  
歯車の遅速の刻む夜長かな 寝落ちたる人と夜長を同じうす  
長き夜のレンズを研く機械なり 長き夜を余すことなく眠りけり

10.10

暑くもなく寒くもなく夜長なり スポンサー途中で替る夜長かな  
 眠るもよし眠らぬもよし夜は長し 長き夜にしばし赤子の良き眠り  
 長き夜は虫に任せて早寝せむ 吊されて<sup>長き夜の白き布やエ布や</sup>布巾の白き夜長かな  
 長き長き夏を忘るる夜長なり 黒で書き赤でなほ書く夜長かな  
 長き夜を線香の火の沈みゆく 長き夜を<sup>化け</sup>お化けと遊ぶ物語  
 長き夜の中に昨日も今日もある 書に遊ぶ人へ夜長のミルクティー  
 歯車の遅速の刻む夜長かな 深々と余韻に浸る夜長かな  
 長き夜のレンズを研く機械なり 寝落ちたる人と夜長を同じうす  
 長き夜の胡麻を圧して胡麻油 長き夜を余すことなく眠りけり

本々執三六に仰む考と侍つ

2019 全然堂歳時記 秋

【夜長】

20句

2019年10月17日発 10行2段12ポ 桐9

暑くもなく寒くもなく夜長なり 長き夜にしばし赤子の良き眠り  
眠るもよし眠らぬもよし夜は長し 長き夜の白き布巾の布巾掛  
長き夜は虫に任せて早寝せむ 黒で書き赤でなほ書く夜長かな  
長き<sup>かり</sup>長き夏を忘るる夜長なり 句の屑をくしやと投げ打つ夜長かな  
飛行機は長き夜を行く孤独な灯 長き夜をお化けと遊ぶ物語  
長き夜を線香の火の沈みゆく 書に遊ぶ人へ夜長のミルクティー  
長き夜の中に昨日も今日もある 而して頁を捲る夜長かな  
歯車の遅速の刻む夜長かな 深々と余韻に浸る夜長かな  
長き夜の胡麻を圧して胡麻油 寝落ちたる人と夜長を同じうす  
スポンサー途中で替る夜長かな 長き夜を余すことなく眠りけり

暑くもなく寒くもなく夜長なり 長き夜にしばし赤子の良き眠り  
眠るもよし眠らぬもよし夜は長し 長き夜の白き布巾の布巾掛  
長き夜は虫に任せて早寝せむ 黒で書き赤で書き足す夜長かな  
長かりし夏を忘るる夜長なり 句の屑をくしやと投げ打つ夜長かな  
長き夜の中に昨日も今日もある 長き夜をお化けと遊ぶ物語  
飛行機は長き夜を行く孤独な灯 書に遊ぶ人へ夜長のミルクティー  
長き夜を線香の火の沈みゆく 而して頁を捲る夜長かな  
齒車の遅速の刻む夜長かな 深々と余韻に浸る夜長なり  
長き夜の胡麻を圧して胡麻油 寝落ちたる人と夜長を同じうす  
スポンサー途中で替る夜長かな 長き夜を余すことなく眠りけり